**交通における差別事例と配慮事例に関するアンケート**

本アンケートは、障害者差別解消法に関して、公共交通機関利用時の障害を理由とする差別事例や障害者への配慮の好事例を把握することを目的としています。集められたアンケートは当財団のウェブサイト等で公表するなど広く活用し、より良い公共交通機関の実現に役立てる予定です。皆さまのご協力をお願い申し上げます。なお、１つのアンケートには差別事例、好事例とも１事例のみご記入ください。２つ以上の事例をご回答いただける場合は、お手数ですが事例の数だけアンケートのご記入をお願いします。

アンケートの回答内容は、個人が特定されない形で公表する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

**ご回答方法**

各質問に対応したご回答を以下のメールアドレスにお送り下さい。

電子メール　sk-anke@ecomo.or.jp

お問い合わせ　バリアフリー推進部

電話03-5844-6265　ファクシミリ03-5844-6294

問１．このアンケートに記入した方は回答者ご本人か、代理の方かお答え下さい。

問２． ご回答者の属性をご回答ください。

（１）性別

（２）居住地（都道府県までで構いません）

（３）現在の年齢（実数をご回答ください）

（４）障害者団体への所属の有無

※上記（１）から（４）の設問は、回答をしたくない場合は除いて頂いて構いません。

問３．鉄道、バス、タクシー、飛行機、船などの交通機関を利用する際に、障害があることを理由に、差別された経験（いやな思いをした、理不尽な扱いを受けた、障害のない人と同じことができなかったなど。差別と思われる事例も含む）について（１）から（８）までご回答ください。

（１）障害の種別（以下から選択してください。複数選択可。）

1. 視覚障害（全盲・弱視・その他）　2. 聴覚障害（ろう・難聴・中途失聴）

3. 言語障害 　　4. 盲ろう

5. 肢体不自由〔電動車いす・手動車いす・その他：　　　　　　　　　　 〕

6. 内部障害　　　　　　　　　　　 7. 知的障害

8. 精神障害　　　　　　　　　　　 9. 発達障害

10. 難病　　　　　　　　　　　　11. その他〔具体的に：　　 　　　　 〕

12. グループで行動していたため、差別を受けた障害の種別を特定できない

（２）交通機関名

（３）場所、駅名、路線名など

（４）内容（利用の拒否、利用時に条件や制約があった、職員の対応が不適切だった等）

（５）その時の支援者、介助者の同行の有無

（６）具体的な内容（差別と思われる体験について、いつ、誰から、どのような対応がなされたか等）

（７）その出来事のあと、交通事業者や行政機関等の窓口に相談しましたか。相談した場合、相談先名を記入。

（８）相談の結果について記入して下さい（具体的に改善されたこと等）。

問４．差別事例に関するご質問は以上で終わりです。
ここからは、障害者への配慮の好事例についてお伺いします。あなたは、障害のある人が交通機関を利用する際の交通事業者の対応について、好ましいと感じたことや、他にも広がると良いと感じたことがありますか。あるいは、そうした事例をご存知ですか。もしあれば、その内容を教えてください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。